

アンケート結果 集計表(文部科学省統一指標)

・「集計表」シートは、集計用に使用しますので、編集・削除等は絶対にしないでください。

アンケート対象者(基礎データ)

全学生数	1536
有効回答数	1233
割合	80.3%
全教員	144
有効回答数	143
割合	99.3%
全職員	68
有効回答数	68
割合	100.0%
全連携自治体	3
有効回答数	3
割合	100.0%

アンケート結果の集計

教育活動の状況

1. 地域志向科目※を何科目設置していますか。現在開設している科目数と、平成26年度新規に開設した科目数をそれぞれお答えください。

現在開設している科目数	118 科目
うち、平成26年度新規に開設した科目数	6 科目

2. 地域志向科目にアクティブラーニングを導入している科目を何科目開設していますか。

アクティブラーニングの科目数	17 科目
当該科目の履修者数(実数)①	662 人
当該科目の履修者数の全学生に対する割合 (当該科目の履修者数①/全学生数)	43.09895833 %

自県内入学者及び自県内就職者の状況について

1. 本項目に加えて、別添1の入学・就職状況調査票(03【別添1】【〇〇大学】入学及び就職状況)についても記入願います。

2. 平成26年度末日における全就職者数のうち、COC事業の協力先企業(共同研究、インターンシップ、PBL等)に就職した数をお答えください。

COC事業の協力先企業就職者数	3 人
うち、共同研究連携	0 人
うち、インターンシップ	0 人

うち、PBL	0人
うち、その他	3人

連携自治体等からの支援の状況

1. 大学COC事業を進めるにあたり、連携する自治体や企業等とのコストシェアの状況についてお答えください。

①人的支援について

	教員			職員	その他
	教授	准教授	講師・助教・助手		
自治体	5人	2人	11人	0人	0人
企業等	4人	2人	0人	0人	0人

②物的支援について

自治体	ボランティアフォーラム実施にあたり、会場として高梁市文化交流会館を高梁市より無償で貸与していただいた。 「親子ふれあい遊び」実施にあたり、高梁市より会場として川上児童館、成美集会所、中井町健康増進センター、落合児童館、高梁市文化交流会館ライブラリーを無償で貸与していただいた。
企業等	「高梁地域の保健医療福祉施設入院・入所者への地域で学ぶ学生のマンパワー活用に関する研究-学生出前足湯ボランティアをモデルとして-」を行っている足浴ボランティア実施にあたり、特別養護老人ホーム白和荘に無償で会場を提供していただいた。

③財政的支援について

自治体名	金額
高梁市	500,000 円

企業等名	金額
淡路島レタス産地活性化協議会	600,000 円

連携自治体や企業等からの相談状況

地域との連携強化に資する組織により(又は当該組織を通じて)連携自治体や企業から受けた相談件数をお答えください。

連携自治体からの相談件数	26 件
高梁市	22 件
南あわじ市	4 件
	件
	件

企業等からの相談件数	30 件
うち、大企業	0 件

うち、中小企業	7 件
うち、小規模企業	21 件
うち、その他	2 件

全学生対象

1. あなたの出身(出生地)について、当てはまるもの1つを選んでください。

現在通っている大学がある都道府県(地元の大学へ進学)	504	人
現在通っている大学がある都道府県以外	765	人
分からない	0	人
その他	86	人

2. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	731	0.59286294
知らない	423	0.34306569
わからない	181	0.14679643

3. 当該大学が「地域のための大学」として実施する授業科目等(〇〇(選択・必修、対象年次、対象学部)←各大学が個別に記載する)を受講したことがありますか。

	人数	割合
はい	533	0.43227899
はい(複数科目)	641	0.51987024
いいえ	230	0.1865369

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

4. 上記科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。

	人数	割合
はい	475	0.40459966
いいえ	177	0.15076661
わからない	495	0.42163543

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

5. 上記科目の受講が、大学のある地域(都道府県)の企業や自治体等に就職しようとするきっかけになりましたか。

	人数	割合
そう思う	157	0.13373083
ややそう思う	293	0.24957411
どちらでもない	421	0.35860307
あまりそう思わない	152	0.12947189
そう思わない	86	0.07325383

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

6. その知識・理解・能力を今後どのように活かしていきたいと思えますか。(自由記述)

- ・知識を身につけそれを活かせる場を探し還元したいと思う。
- ・できるだけイベントやボランティアなどの活動に参加しようと思う。
- ・地域に根差し活性化させるその地域独自の魅力の発見
- ・地域の方々と交流を深めていきたいと思えます
- ・もっと地域に対して興味を持とうと思った
- ・自分の地元の人や知らない人達に伝えて多くの人に広めていこうと思った
- ・地域に役立つことがしたい
- ・地域活性化のイベントを調べ、周りの人に知らせたり、参加していこうと思う
- ・もっと地域のことを知りたい
- ・自分達が地域の一員と考え、ボランティアや地域のイベントに積極的に参加しようと思った
- ・この大学に入学しないと勉強できなかった内容でした。社会人になった時地域の魅力を伝えていけるよう努力します。
- ・地域福祉と福祉サービスの知識を勉強します
- ・地域に密着した行事やイベントに積極的に参加しようと思う
- ・より理解を深め、地域発展に努めていきたい
- ・吉備国で学んだことを就職した際に生かしていきたい
- ・実家地域の活性化等にいかせればいいかなと思う
- ・将来福祉施設で働いたら今まで勉強したことを活かしていきたいです
- ・どの様に生かす事が出来るか现阶段では具体的には解らない。しかし、今後社会に出た際、必要な知識であるので、その時に使っていきたいと思う
- ・地域を活性化させるためには何が必要であり、何を行っていく必要があるのかをまず一番に考えることが出来るようになりたいと思う。地域が求めている人材になりたいと思う
- ・今まで地域でのボランティアに参加して知識よりもふれあいについての大切さが大事だと思う。今後社会に出た際、必要な知識であるので、その時に使っていきたいと思う
- ・現状では地域の為に知識や能力をどう活かすべきか見当がつかっていないので分からない。必要な事態になったら、積極的に活動をすると思う
- ・コーディネータ論で学んだ知識を地域の福祉施設に就職して、ボランティア活動を企画するなどして活かしていきたいと思えます
- ・地域活性化のイベントやボランティアに積極的に参加するとともに、学んだ知識を生かして地域活性化の対策を新しく考えたい
- ・友達に観光案内をする
- ・学んだ知識をこれからもっと深めてゆきたいと思った
- ・将来作業療法士になったとき、役立ててゆきたい
- ・特に何も変わらない
- ・これから大人になって家庭を持つ中で参考になればと思う
- ・地域のボランティア活動に参加して、その現状を自分の目で確かめたいと思った
- ・地域に密着した、訪問リハビリテーションを行う病院に就職したいと思う
- ・将来、地域や老健などに行きたいと考えているので、その時に活かしたいと思えます。
- ・地域医療に関わりたいと思う
- ・特に考えはない
- ・何かに貢献できればいいなと思えます
- ・高梁は観光地としての一面を持っている反面、定住している若い人が少なくなっている問題があるので、地域のイベントに参加する中で良さを発信していけたらよいと思う。また、参加したイベントを広めていくことも出来ると思う
- ・ただ活かしたい
- ・この1年間では地域のイベントなどに参加していないが、来年度は参加していきたい
- ・地域の起業や活性化に役立てていきたいと思えます
- ・世界の困っている人々のため、世のため人のために知識を使いたい
- ・地域の企業や食品に関する全体に役立てたいと思う

全教員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	142	0.99300699
知らない	0	0
わからない	1	0.00699301

2. 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。

	人数	割合
--	----	----

教育・研究とも実施	57	0.3986014
教育のみ実施	41	0.28671329
研究のみ実施	20	0.13986014
いいえ	25	0.17482517

全職員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	68	1
知らない	0	0
わからない	0	0

全連携している自治体の代表を対象

1. 当該大学の取組は、副申した事業計画どおりに進捗していると思いますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ	0	0
わからない	0	0

2. 当該大学の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ	0	0
わからない	0	0

3. 当該大学の取組は「地域のための大学」として満足するものですか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
大いに満足	2	0.66666667
満足	1	0.33333333
不満	0	0
大いに不満	0	0